

議会（一般質問）に来てみませんか？

日時：令和6年9月10日(火)、11日(水)【予定】

場所：役場議場 午前10時から

【注意】上記日程は予定となります。11日は前日の進捗状況により休会となることがありますので、開会日及び質問順番については、前日の夜及び当日の朝の防災無線のお知らせで確認してください。ご不明な点があれば議会事務局（53-2499）までご連絡ください。



一般質問 通告内容一覧



鈴木保仁議員

1、感染症に対する取り組みについて

- ①感染症の症状等、広報紙に詳しく記載する事は可能か伺います。
- ②泉崎村として、コロナ処方薬の補助申請要望書を県・国に提出する考えはあるか伺います。

2、観光事業について

- ①泉崎村としての観光事業内容を伺います。
- ②泉崎村をPRして頂いている方々に泉崎村として支援を行っているのか伺います。
- ③今後、観光事業をどの様に進めるのか伺います。

3、古墳・遺跡について

- ①泉崎村の古墳・遺跡を学ぶ時間が学校で設けているのか伺います。
- ②横穴遺跡・歴史資料館等、もっとPRすべきと思いますが村としての方針を伺います。

鈴木義男議員

1、踏瀬地区内にある砂利採取場の現状及び今後について

- ①大字踏瀬字東ノ入山地区で行われてきた砂利採取事業は、事業開始から、おおむね25年位は経つかと思われます。しばらくの間、砂利採取事業は行われていませんが、これまでの砂利採取事業の規模、関係地権者数権利関係、主な法令上の許認可内容、これまでの行政的指導などこれまでの開発事業の時系列的経緯、現状などについて伺います。
- ②ここに来て、砂利採取地への残土捨場としての利用、その他の動きがあるようです。この地区は人目に付きにくい場所だけに不法投棄の恐れもあります。この砂利採取事業の現状での動きの把握及び今後について、行政側の対応を伺います。

2、災害廃棄物処理計画の策定について

- ①災害時に想定されるごみの発生量や処理可能量、仮置き場候補地など災害廃棄物を適正かつ円滑・迅速に処理するために必要な事項を整理した災害廃棄物処理計画策定の取り組みについて伺います。

木野内 悟 議員

1、農地について

- ①これまでは、人・農地プランにより地域間での話し合い、アンケートを基に農地を利用する側、しない側のプランを作成してきました。今後は、将来の農地利用の姿をより明確化する事が必須である事から、地域計画を国が打ち出してきました。当然村としても、今年度中には地域計画を完成しなければなりません。現在の進捗と完成までの計画、又、参集範囲をどの様な形をとっているのか伺います。
- ②今後、農地を利用していく方々の事を村としても最優先で考えなければなりません。農地の貸し借りのあり方（手段、小作料など）をどの様に考えているのか伺います。
- ③離農者が増え続けている中で、農地を作物に利用するのではなく、太陽光発電業者に農地を売却する考えの方もいると思います。実際、農業委員会にも申請があると思いますが、年間でどれ位の申請があるのか、現在の農業委員会での対応、そして村の見解を伺います。

2、水利について

- ①阿武隈川から木ノ内前地区を通り、関平地区を農業用水又、火災時の水利として利用している約1.8m幅の水路があり、一年を通して利用されています。春から秋にかけては、水位が充分にあります。火災時期の秋から冬にかけては、この木ノ内前地区から漆久保地区にかけては、消火栓もありませんので、水路の水で消火活動になるわけですが、水路幅が約1.8mあることから、水利確保が困難と予想されますが、村の見解を伺います。

長久保 孝行 議員

1、カントリーヴィレッジに関する周辺整備について

- 利用者の増加維持のため下記の整備が必要
 - ①さつきの里入口近くの歩道の管理について
 - ・桜の枝や草が生い茂り、通れない状況にあり景観も損なわれており、宿泊者が周辺散策で通った場合、悪い印象を与えてしまうのではないかと。村内道路のパトロール実施状況も含め見解を伺います。
 - ②利用者のためのトレセンの修繕について
 - ・風雨時に一部雨漏りがあり、制限される場合がある。
 - ・A面とB面の中間にある、ほぼ使用のないバスケのリングが、競技によっては妨げになると、故障した吊り上げリングもあり、取外し及び修繕を検討した見直しが必要ではないかと。
- 泉崎村公共施設等総合管理計画に基づき、トレセンの今後の計画を伺います。

一般質問とは？

行政のさまざまな課題等について、議員が自らの提言も含めて村に考えを聞くこと。

円谷 亮一 議員

1、防災行政について

①近年は想定をはるかに超える大地震や大型台風、豪雨災害などが各地で頻発し、防災における行政の役割が重要度を増している。本村においては、防災教育や広報活動、防災訓練など、予防のためにどのような準備を行っているか伺う。

②災害発生時における災害対策本部の設置基準及び配備体制について伺う。

③令和6年現在の村内住宅、建築物の耐震化率及び耐震性能が不十分な住宅の戸数、また耐震改修のための支援制度の活用状況について伺う。

④耐震化を促進するための今後の取り組みについて伺う。

野崎 隆 議員

1、村内の企業で働く外国人労働者のマナーについて

①外国人労働者の道路交通に対しての行為（自転車による並行走行、急な進路変更など）

②外国人労働者の夜間、集団で大声で騒ぐ行為（歩道や田んぼに集まり懐中電気やスマホのライトを照らして大声で騒ぐなど）

これらのことに関して非常に多い相談が寄せられています。行政として、企業に対して指導など出来ないかも伺う。

白石 正雄 議員

1、食の安全について

8月4日、村内で「食べ物を考える会」主催の講演会が開催されました。農薬や食材などに含まれる化学物質が、人間の性や子供の発達障害などに大きく影響があることなどが明らかとなり、参加した村民はショックを受けておりました。

全国の市町村の中には、有機農業や有機食品など安心安全をスローガンに地域作りを進めるところもあります。泉崎村としても栄養職員を中心とした社会教育活動を展開し、啓蒙していく必要があるのではないか見解を伺います。

2、米不足について

店頭における米不足と米価の値上がりが報じられている。米価の乱高下は生産者と消費者に利益をもたらさない。出来秋に若干の生産者手取り価格の引き上げがあったとしても米生産を継続する力にはならない。農家が求めるのは米生産の継続を保証する生産者価格の安定である。

米不足を生じさせるような政治が継続するならば、地方自治体は防衛策として公社をつくり、インターネットを通じて、米を中心とする村内生産農産物を消費者に安定した価格で直接届けるシステムを構築していく必要があるのではないか。

3、給食施設建設について

①学校給食施設建設は国の政策として一定期間、センター方式が推奨されたが、現在は教育効果や社会的影響力、そして安心安全な食育の観点から、自校方式を選択する地域が全国に広がりを見せ、住民の要求運動としても広がりをみせている。

本村においても将来において悔いの残らない選択をするべきでないか。

4、駅のバリアフリーについて

①バリアフリー構想の基本的考え方はどのようなものか。

②6月議会でエレベーター一基2億円と答弁しているがその根拠を示していただきたい。

③JR側に村側の意見や議会としての意見は伝えているのか。

5、泉崎診療所建設予定地について

①駅直結の施設建設は実現できると思うが改めて見解を伺う。

6、鳥獣害防止について

①イノシシなどの出現状況や防止対策の執行状況について報告を求める。

②村民よりハクビシンの被害が報告されている。行政による生態の把握や防止対策は検討されているのか見解を伺う。

お問い合わせ先

泉崎村議会事務局 電話 0248-53-2499